

第1回 蓮沼海浜公園における「整備等の基本的な考え方」検討会議

第1回 蓮沼海浜公園における「整備等の基本的な考え方」検討会議

目次

- 1 公園の概要及び課題について
 - 1-1 公園の概要
 - 1-2 公園の概要と課題
 - 1-3 千葉県が考える課題

- 2 公園を取り巻く状況
 - 2-1 利用者数の推移
 - 2-2 関係法令について
 - 2-3 観光客の状況

(小括) 課題の整理

- 3 意見交換

- 4 今後のスケジュールについて

- 5 その他

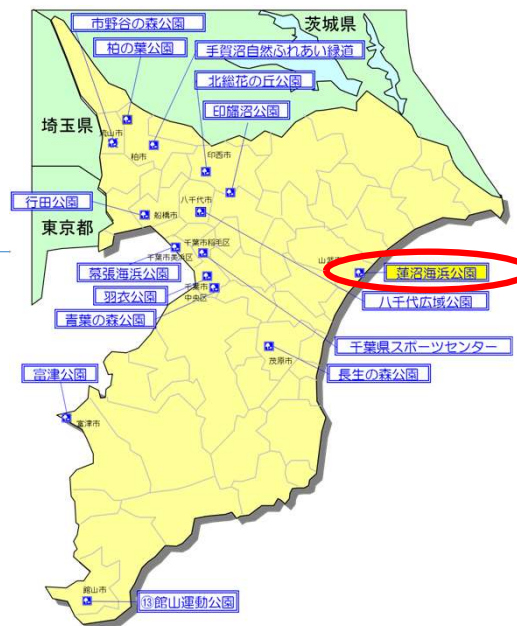


1 公園の概要及び課題について

1-1 公園の概要

【公園概要】

- ①開設 昭和50年7月
- ②所在地 山武市蓮沼ホ
- ③面積 38.3ha（供用済）
- ④種別 レクリエーション都市公園



蓮沼海浜公園は、山武市蓮沼に位置する白砂青松や隣接する海など自然の豊かさを活用した県立公園であり、子供から大人までの幅広い年齢層に利用されている。

当公園は、九十九里浜に沿い南北約4 kmに渡る細長い形状をしており、38.3ヘクタールもの広大な敷地を有している。公園内には、県内最大級の屋外プールであるウォーターガーデンや、36ホールを有するパークゴルフ場、各種遊具施設がある子供の広場など、子供からお年寄りまで幅広い年齢層を対象としたレクリエーション施設を有しており、娯楽の場として多くの県民に親しまれている。

しかしながら、昭和50年の開設から約46年が経過し、各種施設の老朽化が目立つほか、公園利用者の約7割が夏場のプール利用者であるといった現状であり、今後の公園利用の活性化を図るためには、レジャーの多様化が進んだ現代のニーズに沿うような、新たな集客施設等の導入が必要となっている。

蓮沼海浜公園は海に近い公園であることから、千葉県では、この立地を最大限に生かし、魅力ある提案をすることで集客力の向上を図り、公園の再整備を進めていきたいと考えている。



1-2 公園の概要と課題①



パークゴルフ場（設置許可）

東日本大震災の観光復興として、千葉レクと山武市の共同出資により整備。

【概要】

- 全36ホール

【現状・課題】

- 利用者は年々少しづつ増加しているものの
高齢者の利用がメイン

テニスガーデン（管理許可）

松林に囲まれ、20面のテニスコートを有する。会議、セミナー、研修にも利用可能な小体育館を有する。

【主な施設】

- テニスコート：全天候20面、ナイター設備有
- 小体育館：アリーナ500㎡、会議室等

【現状・課題】

- テニス利用者が低迷しており、最盛期のおよそ1/8に落ち込んでいる。



1 - 2 公園の概要と課題②

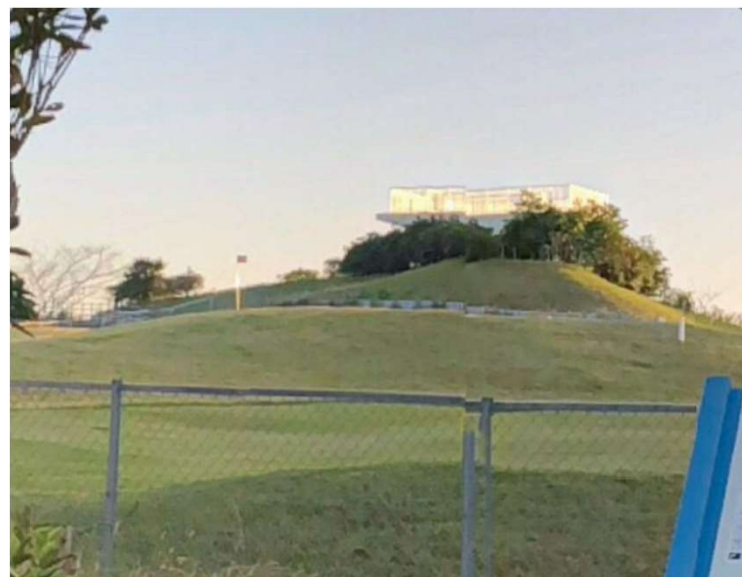


水の広場 ポートハウス・柵等の老朽化



展望台

施設の老朽化が目立つ



小体育館 耐震診断の結果、利用休止中



広大な駐車場

施設の老朽化が目立つ



1-2 公園の概要と課題③



ウォーターガーデン（管理許可、設置許可）

水の一生を表現し、変化に富んだ13のプールに加え、4つのウォータースライダーをもつ県内最大級のプール

【概要】

- 敷地面積：61,000㎡
- 日最大収容能力：22,000人

【主な施設】

- 管理棟、売店
- プール13種類（とろ、みずうみ、溪流下り等）
- ウォータースライダー4種類（スプラッシュシェイカー等）

【現状・課題】

- 県内プール1位の入込客数
- 全般的に施設の老朽化が進行し、高額な改修費を要する。



ガーデンハウスマリーノ（設置許可）

【概要】

- 客室：24室（和室）
- 売店、会議室
- 収用人数：120名

【現状・課題】

- 利用者数は減少傾向にある



1 - 2 公園の概要と課題④



野球場（指定管理）

少年野球（軟式）やソフトボールに対応

【現状・課題】

- 公式戦に対応した規格を有していないため、練習利用でしか対応不可であり、利用者が少ない。



いこいの広場（指定管理）

家族連れやグループ、団体が四季を通じて楽しめる広場

【主な施設】

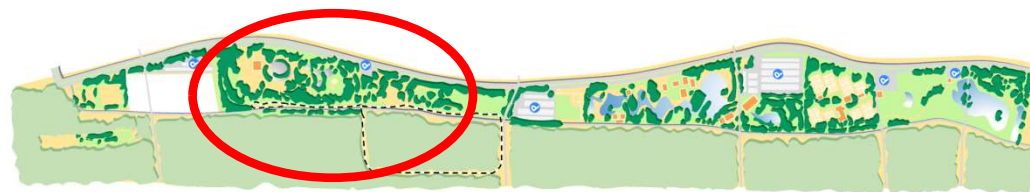
- 芝生広場
- 円形広場（野外ステージ）

【現状・課題】

- 特に有料施設もなく、利用者は少ない。
- 公園が細長いため、利用しづらいという欠点



1-2 公園の概要と課題⑤



子供の広場（指定管理、遊戯施設は設置許可、管理許可）

展望塔を中心に自転車広場などの遊戯施設や、海をモチーフとした遊具を配した広場

【主な施設】

- 展望塔：高さ30m
- 変わり種自転車広場
- ゴーカート
- ミニトレイン
- 海の広場（遊具広場）

【現状・課題】

- 利用者は最盛期の3分の1ほどに落ち込んできている。
- 全体的に施設が老朽化している。
- 週末の利用者と比較し、平日の利用者が少ない。

展望塔



ゴーカート



遊具



ミニトレイン



1-2 公園の概要と課題⑥



スポーツ広場（指定管理）

主に青少年のスポーツレクリエーション活動を対象とした広場

【主な市施設】

- スポーツ広場(サッカー場)：1面(2,900㎡)
- ローラースケート場：(1,000㎡)
- テニスコート：7面 ※休止中

【現状・課題】

- 南浜テニスコートは東日本大震災の津波による被災後、使用不可となっている。
- ローラースケート場は、施設が老朽化がしている。

サッカー場



南浜テニスコート7面（休止中）



ローラースケート場



1-3 千葉県が考える課題

施設の維持改修等にかかる費用（長寿命化計画より引用）

今後20年の
施設の維持改修・更新
費用（右表）

約82億円

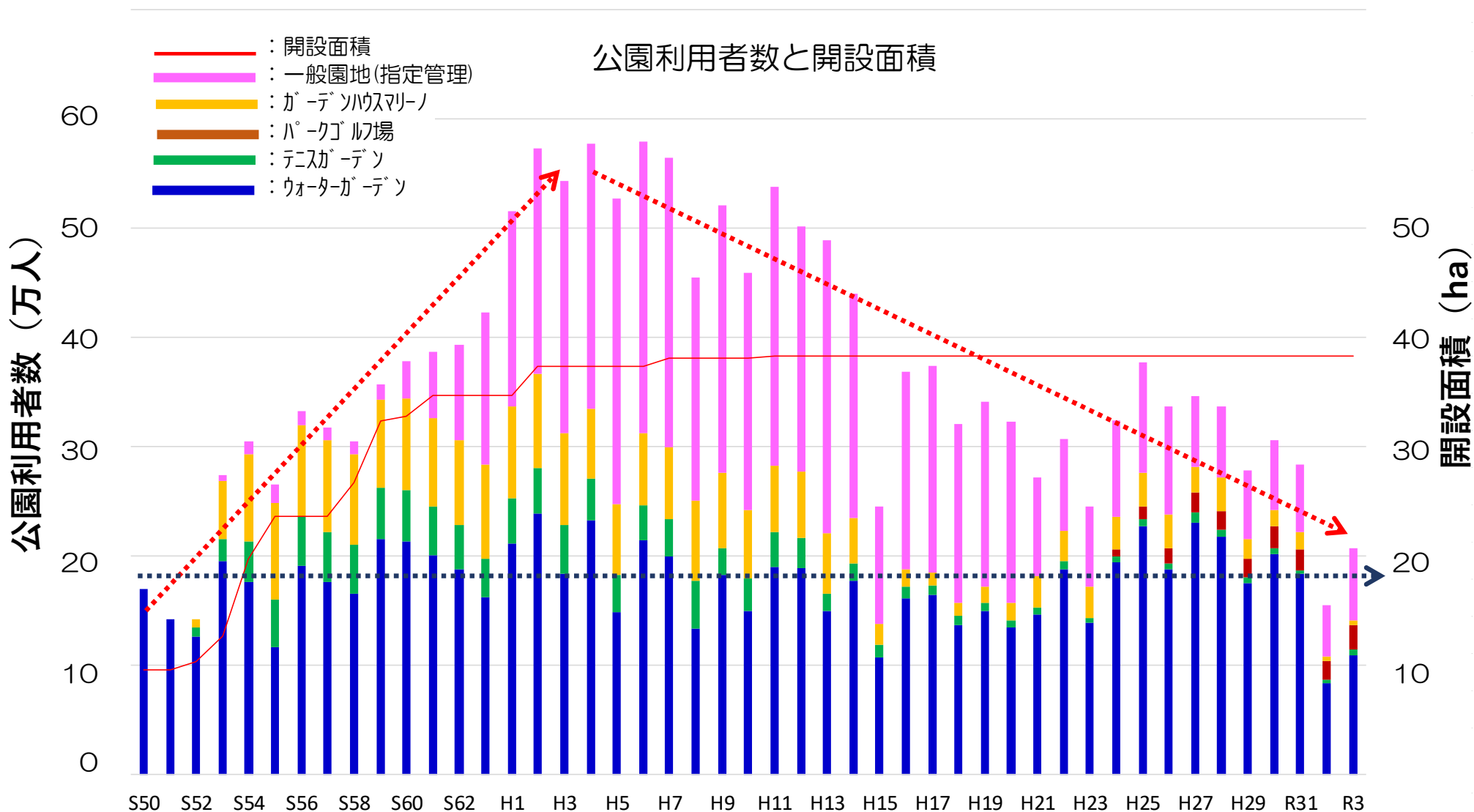
年間指定管理料
約6千万円/年
20年

約12億円

| 【事業費】 |
|--------------|
| 水の広場（パークゴルフ） |
| ウォーターガーデン |
| こどもの広場 |
| いこいの広場 |
| スポーツ広場 |
| テニスガーデン |
| 蓮池 |
| 野球場 |
| 第1駐車場 |
| 第2駐車場 |
| 第3駐車場 |
| 前面歩道 |

2 公園を取り巻く状況

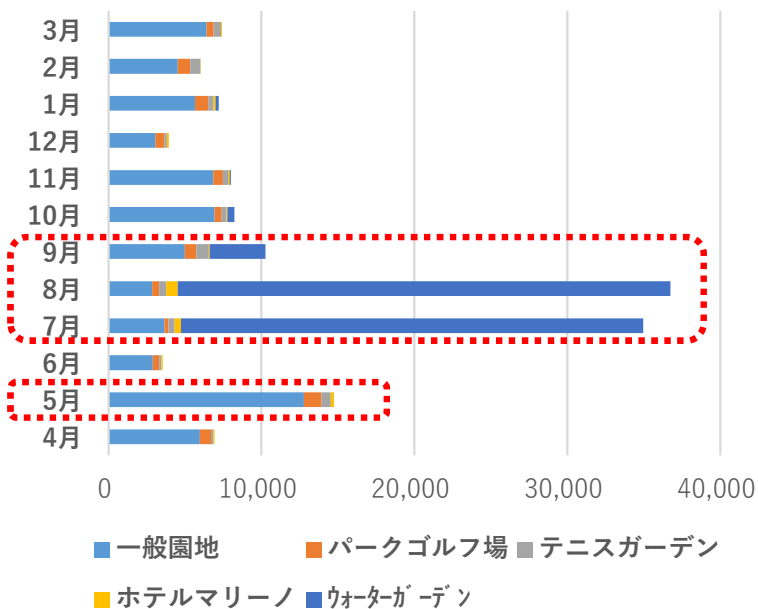
2-1 利用者数の推移①（年度別利用者数）



▶ 公園開設後利用者数が伸び、その後、新規施設を導入しながら利用者数を維持してきた。

2-1 利用者数の推移②（月別利用者数）

令和3年度 月別利用者数

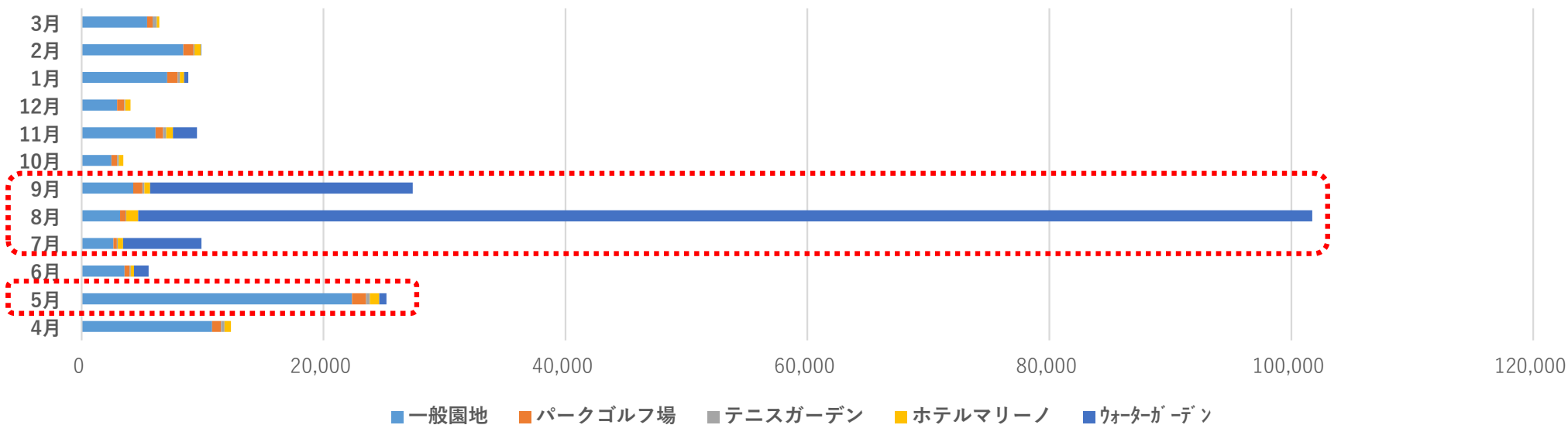


月別利用者数の特徴

年間を通じた利用状況を示すため、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前後の2つの年度の月別利用者数の状況を以下に示す。夏場に利用者が集中している状況であり、それ以外の季節における利用方法の発掘や工夫が求められている。また、コロナ前後で、ウォーターガーデンの利用者数は半部以下に低下している。








令和元年度 月別利用者数



2-2 関係法令について



- | | | | |
|---|--------------------|---|-----------------|
|  | 都市計画決定区域 A=170.1ha |  | 公園供用区域 A=38.3ha |
|  | 保安林指定区域 A=80.6ha |  | 海岸保全区域 A=51.2ha |
|  | 県立自然公園 第3種 特別地域 | | |

<保安林指定区域・海岸保全区域・の活用にあたっての課題>

保安林指定区域 《森林法》

⇒津波被災地である地元の意向も踏まえ、防災機能等の確保を図りつつ、利用可能なエリアや活用方法の調整が必要

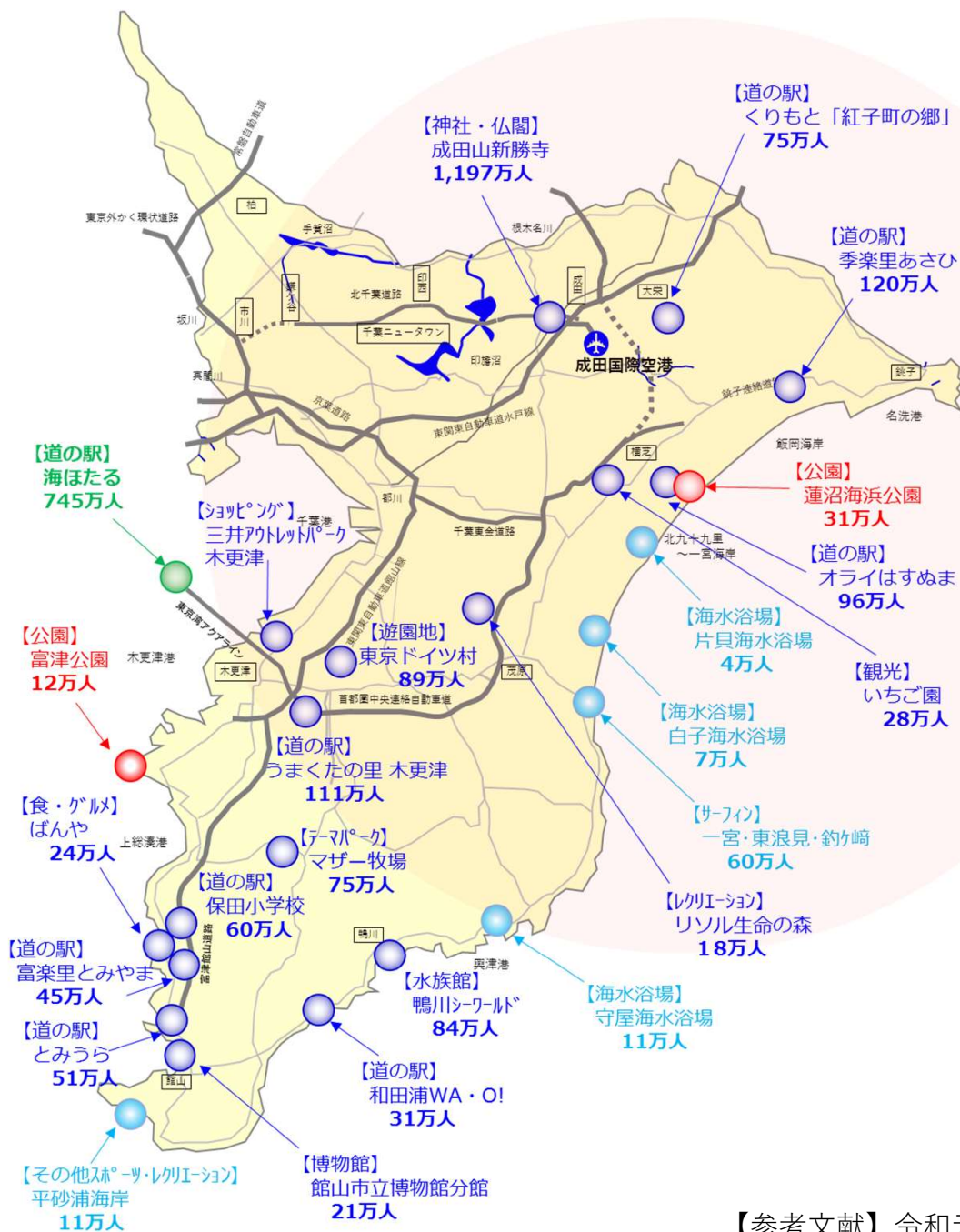
海岸保全区域 《海岸法》

⇒海岸は誰もが自由に使用できる公共の空間であることから、施設を設置するなど特定の者の利用に限定する場合は調整が必要。また夏季は海の家との調整も必要

県立自然公園 第3種 特別地域 《千葉県立自然公園条例》

⇒建築行為を行う場合は許可が必要で、13mの高さ制限などがある。

2-3 観光客の状況



蓮沼海浜公園周辺施設の観光客数（令和元年度）

| 種別 | 施設名 | 年間利用差者数 |
|---------------|------------|---------|
| 公園 | 蓮沼海浜公園 | 31万人 |
| 種別 | 施設名 | 年間利用差者数 |
| 道の駅 | 海ほたる | 745万人 |
| 種別 | 施設名 | 年間利用差者数 |
| 道の駅 | 季楽里あさひ | 120万人 |
| 道の駅 | オライ蓮沼 | 96万人 |
| 観光 | いちご園（山武市） | 28万人 |
| スポーツ・レクリエーション | リソル生命の森 | 18万人 |
| 種別 | 施設名 | 年間利用者数 |
| 海水浴場 | 片貝海水浴場 | 4万人 |
| 海水浴場 | 白里海水浴場 | 7万人 |
| 海水浴場 | 白子海水浴場 | 7万人 |
| サーフィン | 一宮・東浪見・釣ヶ崎 | 60万人 |

【参考文献】 令和元年度 千葉県観光入込調査報告書（千葉県商工労働部観光企画課）

(小括) 課題の整理

蓮沼海浜公園の課題の整理

| 公園の特徴① | 公園の特徴② |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 海に近い立地 ・ 観光拠点としての機能 ・ ウォーターガーデン知名度 ・ 昭和の名残り | <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設老朽化による更新費用 ・ 防災機能（津波対策） ・ 保安林・海岸保全区域 ・ 不便な公共交通網 ・ 細長い敷地形状 |
| 外部の特徴① | 外部の特徴② |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ レジャーの多様化 ・ ライフスタイルの変化 ・ 成田空港第三滑走路整備によるインバウンド増 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少 ・ 少子・高齢化 ⇒公園利用者の趣向の変化 ・ 新型コロナウイルスの流行 |

自由討論

4 今後のスケジュールについて

○検討会形式で4回実施予定

R4.5 検討委員会の設置・委員の選定

R4.7 第1回 検討会議（公園現状と課題の共有）

R4.9 第2回 検討会議（再整備に向けた今後の公園の方向性について検討）

R4.11 第3回 検討会議（提案内容取りまとめ、「基本的な考え方」素案作成）

R5.1 「基本的な考え方」素案についてパブリックコメント実施

R5.2 第4回 検討会議（県民意見を踏まえた「基本的な考え方」の策定）

R5.3 「基本的な考え方」HPにて公表